

演奏を
生かすも殺すも
タッチ次第

「ピアノ構造から見た正しいタッチ」②

ショパンをもっと深く知ろう

～ショパン:エチュードを題材として～



参考教材

チェルニー30番、ショパン:エチュードOP10-3「別れの曲」、4、12「革命」 OP25-1「エオリアンハーブ」 ほか

講師: 長谷川 淳 先生

「演奏」はある意味「科学」です

音楽的な要素とタッチなどの技術的なものを一緒にたにして考える方がいらっしゃると思いますが、すごく情熱を込めて体を一生懸命使って弾いているから、いい音が出るということではないのです。

‘正確で、疲れず、最小の動きで最良の音’ が出るということが一番大切です。
そう考えると演奏は科学です。

「こういう風に弾きたい!」という
‘イメージを最大に、100%伝えるのが演奏の目的’ なのです。
それは出てくる音そのものでしか伝えられません。

- 必要な動きと無駄な動き
- 音をつくる一瞬の間に意識すること
- 何のためにどういう脱力をするのか
- ピアノの構造とその歴史的変遷をふまえた 作品の理解



愛知県立芸大ピアノ科卒業、ミュンヘン音楽大学卒業。林秀光、K、シルデの諸氏に師事。帰国直後よりリサイタルやピアノコンチェルト、アンサンブルなど数多くの演奏会に出演。指導者としても精力的に活動する。本年度まで12年連続でPTNA指導者賞受賞。またPTNA全国決勝大会では門下生がほぼ全部門にわたり金銀銅ベスト賞など上位入賞を果たす。全日本学生音楽コンクール中学生部門全国大会第1位、日本ピアノ教育連盟オーディション全国大会受賞コンサートに多数出演、「夢コン」グランプリ、日本演奏家コンクール全国大会1位、日本クラシック音楽コンクール全国大会上位入賞等多くの指導歴を有する。特にショパン国際コンクールin Asiaでは毎年のように最終アジア大会で上位入賞者を輩出。特に2009年アジア大会へは最多の12名が進出、うち金銀銅を含む10名が入賞をするなど輝かしい成績をおさめる。また全国各地で審査や講座や公開レッスンを行う。
現在、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員、中部ショパン協会幹事会員、金城学院大学 芸術・芸術療法学科ピアノ非常勤講師

日時: 2011年5月25日(水) 10:00~12:00

会場: カワイ名古屋 2F コンサートサロン「ブルー」

受講料 カワイ講師・音研会 ¥2,500
楽譜会員(PTNA・JPTA・ショパン協会・Miyoshi Net) ¥3,000
一般 ¥3,500

問い合わせ先: カワイ名古屋 Tel 052-962-3939 Fax 052-972-6427

名古屋市中営地下鉄 東山線・名城線「栄」駅
3番出口より徒歩1分

2011年5月25日(水)

長谷川 淳 ピアノ教師のための指導法セミナー申込書

○をつけてください

カワイ講師・音研会・楽譜会員(番号)

)・Miyoshiネット・JPTA・PTNA・ショパン協会・一般

お名前

お電話番号

Fax番号

ご住所